

平成 28 年度 第 2 回宍粟市地域公共交通会議次第

平成 29 年 2 月 16 日（木）
午後 1 時 30 分～
宍粟防災センター 4 階研修室

1. 開 会

2. あいさつ

3. 報 告

- (1) 路線バスの利用実績について
- (2) 乗車券等の販売状況について
- (3) バス利用推進の取組みについて
- (4) 路線バス見直し及び自治会との意見交換について
- (5) 1 日乗車券について

4. 議 事

- (1) 普通旅客運賃、特殊普通旅客運賃の改正について
- (2) 路線等の変更について
 - ・ 新設路線（循環線）
 - ・ 一部変更路線
（与位河東線、蔦沢線、大谷線、染河内川西線、谷今市線、音水線）

5. そ の 他

6. 閉 会

【メ 毛】

宍粟市地域公共交通会議委員名簿

	所 属	役 職	氏 名	備考
◎	宍粟市	宍粟市副市長	清 水 弘 和	
○	住民代表	宍粟市社会福祉協議会事務局長	可 藤 和 成	
	学識経験者	大阪大学大学院 助教	猪 井 博 登	
	住民代表	宍粟市連合自治会(山崎町連合自治会 代表)	伊 藤 次 郎	
	住民代表	宍粟市連合自治会(一宮町連合自治会 代表)	梶 浦 廣 人	
	住民代表	宍粟市連合自治会(波賀町連合自治会 代表)	上 田 学	
	住民代表	宍粟市連合自治会(千種町連合自治会 代表)	森 井 俊 二	
	住民代表	公募委員	前 田 純 恵	
	住民代表	公募委員	下 川 秀 美	
	住民代表	公募委員	板 東 敏 子	
	住民代表	宍粟市老人クラブ連合会長	船 曳 順 市	
	バス事業者代表	神姫バス(株) 姫路営業所長	魚 谷 観	
	バス事業者代表	(株)ウエスト神姫業務部部長	村 上 正 弘	
	バス事業者団体代表	社団法人兵庫県バス協会 総務部長	水 田 節 男	代理
	タクシー事業者代表	西播タクシー協会宍粟支部長	出 雲 聖 士	
	労働団体代表	ウエスト神姫労働組合執行委員長	富 加 見 紀 彦	
	道路管理者	国土交通省近畿地方整備局姫路河川国道事務所 山崎維持出張所長	田 中 龍 也	
	道路管理者	兵庫県龍野土木事務所宍粟事業所道路担当課長	網 野 雄 治	
	公安委員会	宍粟警察署交通課長	山 本 善 信	
	神戸運輸監理部	兵庫陸運部 首席運輸企画専門官(輸送)	吉 本 道 明	
	兵庫県西播磨県民局	光都土木事務所所長補佐	田 口 司	

宍粟市地域公共交通会議事務局名簿

所 属	役 職	氏 名	備考
まちづくり推進部	部長	坂 根 雅 彦	
まちづくり推進部	次長	平 瀬 忠 信	
まちづくり推進部 市民協働課	課長	樽 本 勝 弘	
まちづくり推進部 市民協働課	副課長兼係長	西 嶋 義 美	
まちづくり推進部 市民協働課	主事	小 原 章 平	
健康福祉部 障害福祉課	主査	平 瀬 弘 生	
一宮市民局 まちづくり推進課	主幹	植 田 真 理	
一宮市民局 まちづくり推進課	主事	梶 本 愛	
千種市民局 まちづくり推進課	主査	中 井 志 文	

報告(1)-1 路線バスの利用実績について【平成28バス事業年度実績】

路線バス利用人員実績(平成28バス事業年度)

市外連絡路線		平成26年10月～ 平成27年9月	平成27年11月～ 平成28年9月
起点	終点		
山崎	横山・倉床	29,448	62,753
山崎	皆木・原・戸倉	63,247	49,150
山崎	千種・西河内	52,875	40,087
山崎	エーガイヤちくさ	—	48,060
合 計		145,570	200,050

市内完結路線 路線名	平成26年10月～ 平成27年9月	平成27年11月～ 平成28年9月
戸原線	—	2,139
城下線	—	843
河東線	(もしもしバス) 1,031	1,832
梯河東線	—	66
与位河東線	—	142
薦沢線	(もしもしバス) 3,503	4,732
大谷線	—	434
土万線	(もしもしバス) 976	4,561
塩田線	—	452
染河内線	(思いやり号) 768	1,453
下三方線	—	262
川西線	—	51
河原田線	—	33
公文線	—	96
小原溝谷線	—	26
千町線	—	49
黒原線	—	139
谷今市線	—	212
水谷線	—	414
飯見線	—	211
音水線	—	92
鷹巣線	—	414
奥西山線	—	117
七野線	—	70
内海線	—	181
※廃止路線	(はちはちバス) 3,347	—
※廃止路線	(波賀ミニバス) 336	—
合 計	9,961	19,021

	目 標	※実 績
公共交通再編後の年間利用人員	200,000	219,071

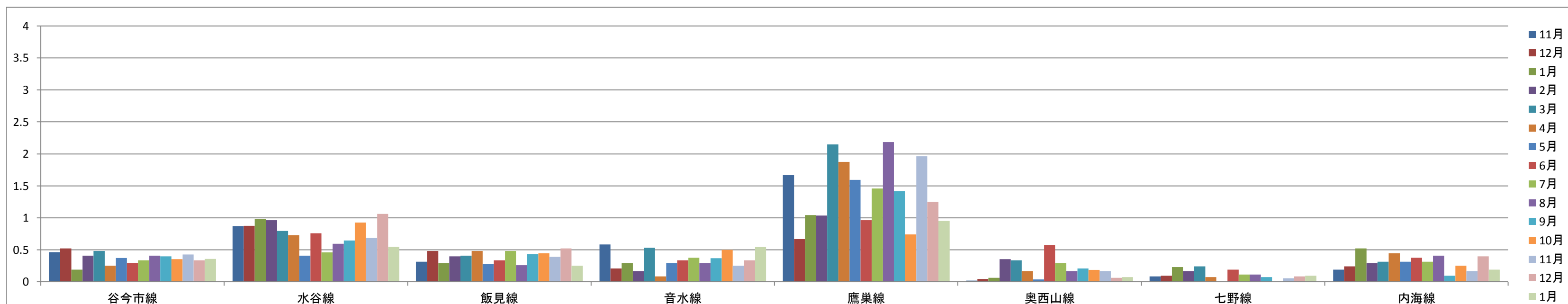
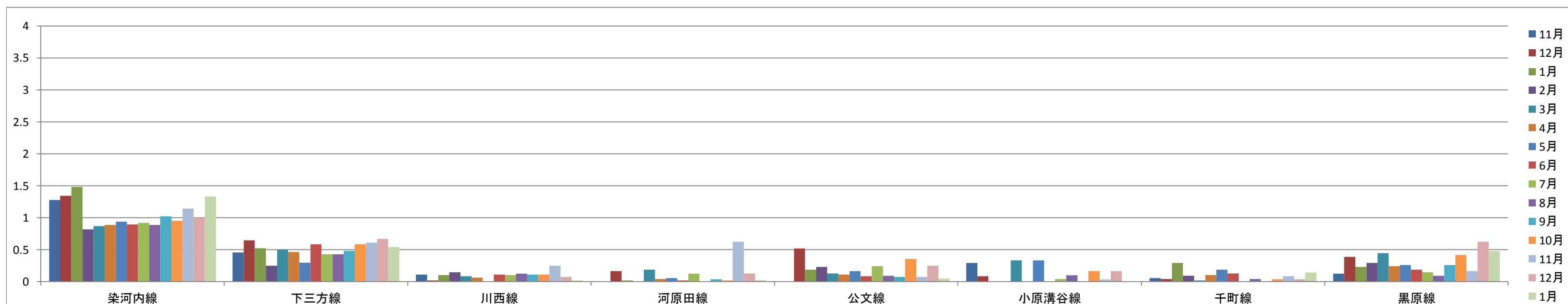
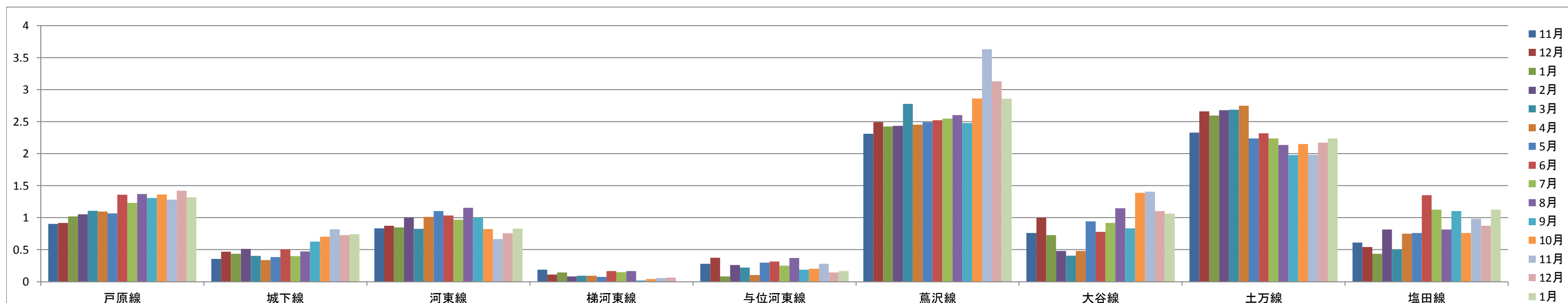
※ 平成28年度(バス事業年度)利用人員は、再編後11ヶ月の人数

小型バス(市内完結路線)利用状況

	1月				合計 (H27.11 - H29.1)			
	利用者数	運行日数	運行便数	1便あたりの利用者数	利用者数	運行日数	運行便数	1便あたりの利用者数
戸原線	211	20	160	1.32	3,044	320	2,560	1.19
城下線	119	20	160	0.74	1,346	320	2,560	0.53
河東線	133	20	160	0.83	2,347	320	2,560	0.92
梯河東線	0	8	48	0.00	74	128	768	0.10
与位河東線	8	8	48	0.17	183	128	768	0.24
蔦沢線	457	20	160	2.86	6,835	320	2,560	2.67
大谷線	51	8	48	1.06	689	128	768	0.90
土万線	358	20	160	2.24	5,994	320	2,560	2.34
塩田線	54	8	48	1.13	642	128	768	0.84
染河内線	160	20	120	1.33	2,010	320	1,920	1.05
下三方線	26	8	48	0.54	381	128	768	0.50
川西線	1	8	48	0.02	74	129	774	0.10
河原田線	1	7	42	0.02	72	127	762	0.09
公文線	2	7	42	0.05	131	127	762	0.17
小原溝谷線	冬季運休	-	-	-	33	46	276	0.12
千町線	6	7	42	0.14	63	127	762	0.08
黒原線	23	8	48	0.48	221	128	768	0.29
谷今市線	15	7	42	0.36	285	127	762	0.37
水谷線	23	7	42	0.55	575	127	762	0.75
飯見線	12	8	48	0.25	285	124	744	0.38
音水線	13	4	24	0.54	133	64	384	0.35
鷹巣線	20	7	21	0.95	537	127	381	1.41
奥西山線	3	7	42	0.07	142	127	762	0.19
七野線	4	7	42	0.10	81	127	762	0.11
内海線	9	8	48	0.19	230	128	768	0.30
合計	1,709	252	1,691	1.01	26,407	4,195	27,989	0.94

 前月と比較し、利用者が増加している路線

1便当たりの利用者数（H27.11～H29.1）



市内路線バス乗車券等取扱枚数

(単位:枚)

	平成27年度		平成28年度	
	H27.10～H28.3	1カ月平均	H28.4～H28.12	1カ月平均
回数券	682	113	1,146	127
一日乗車券	—	—	589	—
フリー乗車券1カ月	279	46	745	82
フリー乗車券3カ月	245	40	576	64
フリー乗車券1カ月(障がい者)	65	10	130	14
フリー乗車券3カ月(障がい者)	50	8	81	9
1か月あたりフリー乗車券利用者数(推定)	245人		315人	

※ 平均の数値は、運行月数により除している

※ 一日乗車券は、平成28年9月1日より販売開始

※ (株)ウエスト神姫資料提供

報告（３） バス利用推進の取組みについて

１． バス利用推進員「バス守ろう隊」について

- （１） 隊員数 87名
- （２） 活動報告書提出数 17件
- （３） 隊員への支援
 - ① バスの乗り方等の講習会を平成28年9月27日と9月30日に市内4会場で開催
 - ② ボランティア保険の加入
 - ③ バス時刻表及び啓発チラシの提供
 - ④ お試し乗車のためのバス利用券の交付



２． 園所児を対象としたバスの見学・乗車体験「バスにのってたのしそう！」

（１） 取組実績

公共交通の利用者を増やす取組みとして、小さな間からバスに親しみ、親子等でのバス利用に繋げることを目的に園所児を対象とした見学・乗車体験を実施しました。

園所数	園所児数
12	515



３． 路線バスの結節点にベンチを設置

兵庫県立山の学校より寄贈された、ベンチ18脚を市内路線バスの結節点に設置しました。



エーガイヤちくさ



一宮市民局

参考資料 「平成28年度第1回 地域公共交通会議 報告（8）資料」

路線バス見直し及び自治会との意見交換について

1. 路線の見直し基準

路線区分	基準
大型バス（市外連絡路線）	平均乗車密度 2人以上
小型バス（市内完結路線）	1便あたりの利用者数 1.5人以上

運行開始から1年ごとに路線評価を行い、利用状況により運行便数やルート、ダイヤ等の変更を検討し見直しを図ります。所要の見直しを行っても明らかに需用が見込めない路線は、3年を目途に廃止の検討を行います。

2. 路線に係る意見・要望の扱い

平成27年11月2日の公共交通の再編以降、市民の皆さんからバス停、運行時間、運行経路等様々な意見・要望が寄せられている。

持続可能な公共交通を構築するために、地域、運行事業者及び行政が一体となってより利用が図られるよう改善しなければなりません。

しかしながら、公共交通を維持するためには、一人でも多くの利用が必要であり、かつ市民の皆さんの身近な移動手段として、公共性を保つために公平なサービスに努めなくてはなりません。

よって、現在寄せられている意見・要望等を運行事業者及び行政の考え方を示し、連合自治会を中心として地域のバスを維持するための議論を依頼している。

3. 今後のスケジュール

内 容	1年目				2年目			
	H27.11	H28.4	10		H29.1	4		
路線評価（1年目）								
連合自治会内の調整								
軽微な変更								
見直し案の作成								
見直し案の決定・利用者へ周知								
見直し案による運行開始								
路線評価（2年目）								

公共交通運行に係る自治会からの意見

報告(4)-1 路線見直しに係る自治会からの意見・要望について

自治会名	自治会からの意見	検討した結果
下広瀬	①行きと帰りの時間が合わない。待ち時間が長い、時間の調整が難しい。バスに乗ってから目的地までの乗車時間が長いため、今のままではお金がかかってもタクシーを使う方がよい。家族が不在の時は、近所の手を借りている。 ②乗車時間が長く、今のままでは利用する気にならない。目的地への直行便を考えてほしい。足が不自由でバス停までの距離が長く移動する距離が遠い。 ③バス停に日よけや、雨天時の屋根を設置してほしい。	① 待ち時間の改善は引き続き検討します。 ② 乗車時間の短縮は課題として捉えておりますが、小型バスの車輛回し、交通空白地の解消を目的とした路線設定により、現状の路線でご理解いただきたい。 ③ 道路法占用許可や公安委員会の指導事項を参考に検討しましたが、設置することは難しいものと判断します。 ※(道路法占用許可) 歩道幅2m以上確保、バスベイ(バス停)設置、占用物固定措置など(公安委員会指導事項) 交差点・横断歩道・規制看板等への近接不可、カーブ・幅員狭小・坂道・視距不良箇所などへの設置不可
宇原	①高齢化が進み車での移動ができない人もあることから土曜日の運行をしてほしい。 ②市役所着後、宇原行のバスの発車までに7分間しかなく市役所での用事ができない。 20分から30分の待ち時間にできないか。 ③通院の利用者が多いため、病院廻りのバスを希望します。 ④回送便を運行して、循環方式にすれば利用がしやすくなる。 ⑤井上クリニックの利用者のために御名東の停留所を井上クリニックに近い場所に変更してほしい。	① 公共交通再編計画策定時より、土日は家族等の協力をお願いしておりますが、将来的な検討課題として捉えております。 ②戸原線の運行時間を見直します。 ★戸原行第1便を(9:00から9:30)発に調整 ★山崎行第2便を(10:50から10:30)発に調整 ③ 路線バス(一般乗合旅客運送事業)により運行されており、特定の目的(貸切バス)を果たす路線設定はできないものと判断しています。乗継制度や最寄のバス停を利用する現状の路線でご理解いただきたい。 ④ 平成29年4月1日より、山崎待合所を起点とする循環バスの社会実験運行を予定しております。 ⑤ バス停の南北には横断歩道及び交差点があり、公安委員会の指導事項上、移動は難しいものと判断します。
三谷	①山崎方面の第1便(三谷8:20)と第2便(三谷12:35)の間の便がほしい。 ②三谷方面への便(14:19)から(17:19)までの間の便がほしい。	①② 小型バスの車輛回し及び河東並びに神野地区全体に影響があるため、両地区全体の課題として関係路線全体の運行時間を見直す場合に検討させていただきますが、現利用者や利用状況を勘案して考えます。
矢原	①乗った人にアンケートをとり要望を聞いてはどうか。 ②時間について考えてほしい。 ③高齢者が車の運転ができなくなれば利用者が増えると思う。 ④市のアピールが悪い、もっと周知してほしい。 ⑤利用者が少ないのは何が原因かもっと究明 ⑥目的地に応じたダイヤの作成目的地に応じた路線を検討(病院、買い物等) ⑦個人通院まわり等をできないか。自由乗降できる仕組みができないか。 ⑧乗らない地区のバス停の廃止	①③④⑤ 継続した利用促進の実施に努めます。 ② 河東並びに神野地区全体に影響があるため、両地区全体の課題として関係路線全体の運行時間を見直す場合に検討させていただきますが、現利用者や利用状況を勘案して検討します。 ⑦ 路線バス(一般乗合旅客運送事業)により運行されており、特定の目的を果たす路線設定はできないものと判断しています。フリー乗降区間の設定については、道路形状や交通量など課題があり、将来的な検討課題と捉えております。 ⑧ 利用促進に努め、利用状況を勘案し判断することになります。
清野	①与位の路線を清野まで延長してほしい。	① 与位河東線を延線し清野地区を社会実験として運行します。

自治会名	自治会からの意見	検討した結果
梯	①乗車に応じて商店街などで利用できるポイントを発行するなどの方法で、利用促進が図られるのでは。 ②梯河東線からさらに北に向かうために、神野小学校前での乗継を行うが到着の1-2分前にバスが出てしまう。スムーズに乗継ができるよう時刻の考慮が必要。	① 1日乗車券制度により、市内の協賛施設でサービスの提供を開始しております。また、商工会に協力を打診したいと考えます。 ② 梯河東線の運行時間を見直します。 ★梯河東線の「梯1バス停」の発時刻を3分早く発車できるよう調整
薦沢地区	①生活必需の買い物、友人や親せき訪問等や、通院などの日常の生活があることから土日でも運行してほしい。 ②山崎を起点に、病院・行政機関・商業施設等(市内商店街含む)を循環するミニバスの運行を。 また、市内循環バスの経路に伊沢の里を入れてほしい。循環バスの運行ルートに大型商業施設を追加し、あわせて停留所を確保してほしい。	① 公共交通再編計画策定時より、土日は家族等の協力をお願いしておりますが、将来的な検討課題と捉えております。 ② 平成29年4月1日より、山崎待合所を起点とする循環バスの社会実験運行を計画しております。伊沢の里へは、薦沢線の利用を呼びかけます。
	③大谷線について、現行は月・水曜日の運行であるが、新たに金曜日の運行と、8時始発を追加してほしい。 ④もしもバスの時は東下野1(ありがとう前)を経由し、東下野2としていたが、ミニバスになって東下野1方面の路線がなくなりありがとうを訪問する人が不便になった。もしもバスの運行経路(東下野1～2経由)にしたい。 ⑤大谷線に(上牧谷＝金元)(下牧谷＝下牧谷②の南300m)に停留所を追加してほしい。	③ 公共交通再編計画策定時より、新規路線における運行基準として「周2日運行」を定めており、現状の利用状況を見ますと、増便は厳しいものと捉えております。なお、運行曜日の変更については、地区自治会と協議させていただきます。 ④ 薦沢線の運行ルートを見直します。 ⑤ 公共交通再編計画策定時より、人家の固まりや道路上の安全確保をもとにバス停を設置しており、要望の箇所への設置は難しいものと判断しています。
	⑥薦沢線の始発、最終バスの時刻が曖昧。薦沢線発の始発時間を40分程度早く。(通院、通学、通院、市外への外出等の際に山崎着が遅い)山崎発の最終便の時間を17時50～18時頃に(通学、通勤、市外からの乗継など連絡が悪いので50分程度発車時間を遅くしてほしい) ⑦たつの市が導入している、停留所以外でも乗降できる「フリー乗降区間」や、降車のみ可能な「フリー降車区間」を導入してほしい。交通量の少ない区間から設定して、フリー乗降可能区間が増えると高齢者が助かる。	⑥ 薦沢線の運行時間を見直します。 ★幼稚園児の通園や現利用者の支障がない範囲として、始発を15分早く発車できるよう調整 ⑦ フリー乗降区間の設定については、道路形状や交通量など課題があり、将来的な検討課題として捉えております。
	⑧咲ランド、JA、商店街、医療機関、公共機関(市役所、郵便局)等は市内循環バス路線経由地に入れてほしい。 ⑨悪天候時に屋根がほしい、また高齢者はベンチ等の腰掛けるものがほしい。	⑧ 平成29年4月1日より、山崎待合所を起点とする循環バスの社会実験運行を計画しております。 ⑨ 道路法占用許可や公安委員会の指導事項を参考に検討しましたが、設置することは難しいものと判断しています。
	⑩もしもバスの時は全7便であったが、4便に減っており不便を感じている。午前9時から10時頃に増便してほしい。	⑩ 薦沢線の利用状況及び地区からの要望もあり、増便します。 ★1便増便し、時間帯は関係機関と最終調整を行っており、早急に判断したいと考えております。
大沢	①大沢字段地区にバスを走らせてほしい。大沢字段地区にバス停を設置してほしい。	地元との協議により路線見直しは見送ります。

自治会名	自治会からの意見	検討した結果
曲里	①山崎バス停から曲里へ帰宅するのに、最終便が早くなるので21時以降の便がほしい。 ②山崎バス停から城下方面へ乗り継ぐ路線が不便なので、ダイセル線や新宮駅線等にも乗継制度を適用してほしい。 ③姫路駅から電車を利用するが、以前は曲里からの直通便があった。1日に3便程度で運行してほしい。また運賃も高すぎるので見直してほしい。	① 長期的な視点で現状の最終便(山崎20:50発)の利用状況も調査しながら判断します。 ② ダイセル線や新宮駅線は、バス発着点が複数市町を跨る広域路線で、運賃体系が異なることから乗継制度は適用できません。 ③ 姫路駅線は、(株)神姫バスが運行しており、運行事業者が異なることから直通便の運行ができません。また、広域路線として運賃体系が異なることから、関係機関に要請します。引き続き、円滑に乗継ができれば努めます。
西安積	①当地区では小型バスから大型バスの乗換利用は考えにくい。地域の状況に応じた運行の工夫が必要と考える。目的別定期ルートに変更してほしい。 現:月、木 3回/日 定期ルートのみ運行 変:1回目-病院行ルート、2回目-買い物ルート、3回目-温泉行ルート ②自治会内の循環をルートに入れてほしい。 現:乗取→西安積橋口 変:乗取→上垣内→西安積橋口	① 路線バス(一般乗合旅客運送事業)により運行されており、特定の目的(貸切バス)を果たす路線設定はできないものと判断しています。 ② 運行事業者と現地確認を行いました。運行上の課題(バスの方転場、道路幅員、傾斜)から延伸は難しいものと考えます。
閏賀	①山崎までの直通便ができないか。 ②月に1回でもいいので穴栗巡りの運行ができないか。 ③逆方向の運行があれば、国道路線への短時間で連絡できる。	① 公共交通再編計画策定時より、小型バスは大型バスへの乗り継ぎを担う役割として主要な結節点までの運行を行っており、かつ小型バスの車輛回しも必要なことから、直行便はできないものと判断しております。 ② 路線バス(一般乗合旅客運送事業)により運行されており、特定の目的(貸切バス)を果たす路線設定はできないものと考えます。 ③ 現行ルートにおいても、逆方向の運行を行っております。
能倉	①伊和高生は通学で利用できるが、山高生が大型バスへの乗継ができないので、もう少し早い出発時間としてほしい。 ②朝昼夕の運行を乗車率の高い朝朝夕にできないか。	① 山崎高校授業開始の7時45分に間に合うように運行する場合は、伊和高生の通学には早い時間帯となるため、地域の高校の通学に合わせた時間設定としております。染河内地区として優先する時間帯を協議させていただきます。 ② 染河内線は他路線と同じ車両を使用しておりますので、配車の都合から椀ヶ段行の第2便を30分早め、11:30発車に変更することは可能であり、地区自治会と協議させていただきます。

自治会名	自治会からの意見	検討した結果
福田	①市内の温泉施設とコラボして、路線バスでの来場者に特典として何かできないか。 ②スタンプ帳などで特典などの楽しめる企画ができないか。 ③福田自治会4組では、バス利用促進の取り組みとして運賃を隣保で支払っている。	①② 1日乗車券制度により、市内の協賛施設でサービスの提供を開始しております。また、商工会に協力を打診したいと考えます。 ③ 地域でバスを守る取り組みとして、色々な機会にお知らせさせていただきます。
深河谷	①出掛ける時はバスの時刻に合わせられるが、帰りの乗車待ち時間を短くする工夫を考えてほしい。 ②バス停を2箇所設置してもらったが、利用者が極端に少ないので、自治会の生涯学習の集まりの場でも、公共交通の上手な活用について話題にしていきたい。	① 待ち時間の改善は引き続き検討します。※具体事例を自治会に確認させていただきます。 ② 地域でバスを守る取り組みとして、色々な機会にお知らせさせていただきます。
黒原	①大型バスが遅れた場合に、小型バスが出発していたことがある。乗継時間の見直しができないか。 大型バス(山崎発12:10)→小型バス(三方営業部:12:55) 大型バス(山崎発14:10)→小型バス(三方営業部:14:48) ②朝の出発時刻がもう少し早くなれば広田医院に行きやすくなる。10月からは予約ができないため。8時か8時30分発の便があればありがたい	① 黒原線の運行時間を見直します。 ★JAハリマみかた営業部発(第2便)13:00発車となるように調整 ★JAハリマみかた営業部発(第3便)15:00発車となるように調整 ② ※広田医院移転

自治会名	自治会からの意見	検討した結果
谷	①現在、奥谷(中山橋～上垣内)をバス運行しているが、下谷(一宮安積へ抜けるほうの地区)を運行してほしい。世帯数もそちらの地区のほうが多い。	① 谷今市線を延線し下谷地区を社会実験として運行します。
水谷	①8:43水谷発⇒8:51メイプル着、山崎行きが安賀9:37発で待ち時間が46分と、朝一番使いやすい時間の待ち時間が長いので不便に感じる。	① 水谷線の運行時間を見直します。 ★奥水谷発(第1便)9:15発車となるように調整
原有賀	①バス停以外のところでも停まってもらえないか。 ②バス停までが遠い。 ③近くに買い物をする場所がないので、バス等を充実させてほしい。	① フリー乗降区間の設定については、道路形状や交通量など課題があり、将来的な検討課題として捉えておりますが、国道29号上への導入は厳しいものと判断しております。 ② 公共交通再編計画策定時より、人家の固まりや道路上の安全確保をもとにバス停を設置しており、自治会内のバス停新設は難しいものと判断しています。 ③ 長期的な視点で現状の利用状況も調査しながら判断したいと考えます。

自治会名	自治会からの意見	検討した結果
岩野辺	①波賀經由山崎行きのエーガイヤ出発時間 書道教室の児童が利用しています。特に「15:05発」ですが下校が15:10(水曜日)なので、出発時間を10分遅くしていただきたい。 ②バスを利用して山崎以南に行きたいが、8時台では遅い。 ③「波賀經由山崎行き」の早い時間帯、「波賀經由エーガイヤ行き」の遅い時間帯の運行と、波賀經由便の土曜・日曜・祝日の本数を増やしてほしい。特に早朝と夕方遅い時間帯が必要。 ④公民館前、福井氏宅前、新宮入口にバス停を設けていただきたい。 (その他) ※岩野辺の方から市民局で直接ご意見をいただきました。 ⑤回数券等の販売手続きを簡単にしてほしい。車内でも購入できるようにしてほしい。 ⑥「皆木発山崎行き」を「エーガイヤ発皆木經由山崎行き」に変更希望 ⑦内海線:内海集落だけでなく岩野辺各隣保を通るような路線にしていだきたい。(新宮・大山・上山・越岨・荒尾等)河呂～岩野辺間にバスを運行していただきたい。	①② エーガイヤちくさ線の運行時間を見直します。 ★エーガイヤ発時刻を15:15発車となるよう調整 ★関係機関(伊和高校やさつき園)との調整の結果、エーガイヤ発時刻を7:50発車 ③ 長期的な視点で現状の利用状況も調査しながら判断したいと考えます。 ④ 公共交通再編計画策定時より、人家の固まりや道路上の安全確保をもとにバス停を設置しており、バス停の新設は難しいものと判断しています。 ⑤ 運行事業者と引き続き協議します。 ⑥ バスの方向幕は、経由地及び終点のみの表示となっております。 ⑦ 運行事業者と現地確認を行いました。運行上の課題(バスの方転場、道路幅員、傾斜)から延伸は難しいものと判断しています。
西河内	①西河内～千種の11:30頃発車の回送を回送にせず客を乗せてほしい。	① 山崎西河内線の回送便を見直します。 ★(山崎発10:15、西河内着11:22)便の西河内から千種区間の回送を実車とし、(西河内発19:08)の西河内から千種区間を回送とします。(千種発19:40)
奥西山	①現在、国道沿いに運行しているが、東側の町道の方も運行してもらいたい。	① 再編時にも運行ルートとして検討しましたが、交差点への進入に切り返しが必要のため、公安委員会との協議により、路線変更はできないものと判断しています。
室	①新宮方面に通学している高校生が帰宅する際、新宮発の17:20便に乗ると、山崎着が17:43になるが、途中、ナンバ～イオン付近で渋滞に巻き込まれほとんど17:43には着かないため、17:45発の千種行きに乗り遅れてしまう。もう少し発車時刻を遅らせてほしい。	① 山崎千種線、山崎河内線の運行時間を見直します。 ★山崎～千種線(千種行)を20:45発に調整 ★西河内発(19:08)を千種発(19:40)に調整

自治会名	自治会からの意見	検討した結果
七 野	①倉谷地区の停留所の移設 倉谷地区は、特に高齢化が進んでおり、また地形的にも非常に高低差の多い地域で、高齢者が坂道を歩いての行動(特に荷物を持つての行動)は大変困難な状況であります。特に、冬季には、積雪、凍結による転倒事故なども十分考えられます。現在の停留所は、高台にある民家から数百メートル離れた低いところにあり、利便性の面からも満足できる状況とはいえません。前年度もお願いしていますが、停留所の移設を再度要望いたします。	① 再編時にも運行ルートとして検討しましたが、バス方転場の確保が必要なため、公安委員会との協議により、路線延伸によるバス停設置はできないものと判断しています。
黒 土	①河井線には路線バスが運行されていないので、路線を増やしてほしい。黒土は急傾斜地区で、特に鷹巣線のバス停を増やしてほしい。	① 運行事業者と現地確認を行いました。運行上の課題(道路幅員、傾斜)から路線設定は難しいものと考えます。なお、大型バス路線の七野バス停の移設を検討しましたが関係自治会との協議により現状維持とします。
中 島	①バス推進委員を設ける目的が理解できない。廃線にならないよう、利用者数を増やすことが目的ならおかしいと思う。実際利用されない路線があるなら何故利用できないのか、原因はどこにあるのかを調査すべきではないか。 ②中島自治会内の市外連絡路線のバス停は、黒土公民館前が「中島」になっている。阿曾葬祭店入口前が「黒土」となっていて、黒土バス停からエーガイヤまでバス停がなく、皆木経由は室橋に停まらないため農協等を利用するのに高齢者には歩行距離が長く利用しにくい。市内完結路線は、市民局よりエーガイヤの間、中島自治会地内にはバス停がなく利用したくてもできない。B&Gプール完成後は、バス停ができ、河川道路を走っている。	① 路線バス(一般乗合旅客運送事業)により運行されており、異なる利用形態ごとに合う運行は、大変厳しいものと考えます。利用推進員には、バスに乗ったことが無い方や乗り方がわからない方と一緒に路線バスにお試し乗車していただくことで、バス利用のきっかけづくりになると考えております。 ② バス停名は、該当自治会と協議させていただきます。JA付近及び商店街へのバス停設置は、再編時にも検討しておりましたが、公安委員会との協議の中で、商店街の幅員が狭いこと、またJA付近はカーブ中であることなど、安全確保ができないとの判断により設置はできないものと考えます。
鷹 巣	①鷹巣から内海回りができないかという案については、いろんな面で困難となっていました。今現在では、大型バスもよく乗入れています。問題がないように思いますが、もし可能なら木曜日に試験的に運行をお願いしたい。(早田地区も通ります) ルート:一内海一早田一土井一下鷹巣一別所一戸倉一土井一早田一～・・・エーガイヤ ②各路線とも始発停留所が終点になるような路線だったら無駄がないように思います。	① 運行事業者と現地調査を行いました。運行上の課題(傾斜、運行時間の延長)から延伸は難しいものと考えます。 ② 地域の地形や利用形態により検討させていただきます。

【 １日乗車券 】

平成 28 年 9 月 1 日に、1 日市内を自由に移動できる 1 日フリー乗車券の販売を開始しました。
1 日乗車券は、有効日に限り観光施設で提示することで特典が得られる企画切符です。

〈対象路線〉

市外連絡路線 4 路線、市内完結路線 2 5 路線

※神姫バス路線（姫路駅線）、ウエスト神姫路線（新宮駅線、ダイセル線、高速バス）は対象外

3. 設定料金

500 円／日

1 日乗車券ご利用特典

波賀温泉 楓香荘 Tel0790-75-2355 Fax0790-75-2356
〒671-4213

兵庫県宍粟市波賀町原 625

- 入浴料半額（おとな 600 円→300 円／こども 300 円→150 円）
- 3 名以上の予約で「道の駅はが」まで無料送迎

道の駅 みなみ波賀 Tel0790-75-3999 Fax0790-75-3998
〒671-4241

兵庫県宍粟市波賀町安賀 8-1

- おみやげ 5,000 円以上購入で自宅への宅配送料サービス
- レストラン食事代 5%割引
- 5 名以上の団体は予約で 10%割引
- 売店・青空市 5%割引

フォレストステーション波賀 Tel0790-75-2717 Fax0790-75-2757
〒671-4221

兵庫県宍粟市波賀町上野 1799-6

- 3 名以上の予約で「道の駅みなみ波賀」まで無料送迎

伊沢の里 Tel0790-63-1380 Fax0790-63-0362
〒671-2517

兵庫県宍粟市山崎町生谷 214-1

- 入浴料半額（おとな 500 円→250 円／こども 300 円→150 円）
- レストランで食事の方はドリンクバーサービス

道の駅 播磨いちのみや Tel0790-72-8666 Fax0790-72-8667
〒671-4133

兵庫県宍粟市一宮町須行名 510-1

- 宍粟の名水でたてたコーヒー 1 杯無料



議案（１）普通旅客運賃、特殊普通旅客運賃の改正

運賃の種類、額及び適用方法

（平成 29 年 4 月 1 日適用）

運賃の種類、額及び適用方法

種 類	運 賃
普通旅客運賃	山崎千種線及び山崎西河内線 200円
特殊普通旅客運賃	宍粟市路線バスフリー乗車券 種類：毎日 金額：持参人式（紙式） 1ヶ月 5,000円（月初め～月末） 3ヶ月 14,200円（月初め～3ヶ月後の月末）

普通旅客運賃、特殊普通旅客運賃の改正

1. 目的

これまで佐用町との協議の中で、山崎千種線及び山崎西河内線につきましては、佐用町を通過後は同町のコミュニティバスと同じ運賃を適用しておりましたが、このたび、佐用町のコミュニティバスが播磨科学公園都市圏域定住自立圏による「広域連携バス」化の取組みとして、運賃が300円から200円に改正されます。

つきましては、佐用町の運賃改正に合わせて山崎千種線及び山崎西河内線における一部300円区間を廃止し、普通旅客運賃を市内一律200円とするものです。

また、特殊普通旅客運賃につきましても、市の利用促進の取組みとして実施している市民価格の料金にすることで更なる利用と維持を強く進め、路線バスの定着を図るものです。

※播磨科学公園都市圏域定住自立圏（中心市：たつの市、構成市町：宍粟市、上郡町、佐用町）

2. 適用日

平成29年4月1日

議案（２） 路線等の変更について

１． 提案内容

公共交通再編計画の路線設定の考え方を基本として、一人でも多くの利用につながり、かつ公平なサービスの提供に努めるために、路線の見直し及びバス停の新設、廃止を行う。

２． 路線等変更の内容

（１） 新設路線

- ・ 循環線

（２） 路線の一部変更及びバス停の新設、廃止

- ・ 市外連絡路線（大型バス路線）
- ・ 与位河東線
- ・ 蔦沢線
- ・ 大谷線
- ・ 染河内川西線（路線名称変更）
- ・ 谷今市線
- ・ 音水線

３． 適用年月日

平成 29 年 4 月 1 日

４． その他

- ・ 与位河東線（路線延伸部分）
- ・ 谷今市線（路線延伸部分）

平成 29 年 4 月 1 日から平成 29 年 9 月 30 日までの指定曜日

※ 上記 2 路線の延伸部分は、運行期間中の利用状況を検証して、10 月以降の運行を判断する。

議案（２）－１ 新設路線について

循環バスの運行（社会実験）

１．運行期間

平成２９年４月１日（土）から平成２９年９月３０日（土）

２．運行経路

山崎待合所周辺を巡回する地域 20 分／巡回

山崎待合所～イオン～医療モール～山崎自動車学校近辺の商業施設

※ 公立穴栗総合病院には、既存路線(小型バス最大 41 便発着／日)で運用

３．運行時間及び運行間隔

午前８時から午後６時まで、（月）から（土）30 分間隔で運行

４．運賃

200 円／回（乗継制度適用）

５．運行車輛

社会実験期間中は、中型バス（座席 15 定員 38 名）

６．社会実験運行の評価

運行開始から３か月間の利用状況等を検証し、本格運行の可否を判断



循環バスの社会実験運行（山崎待合所周辺）について

1. 山崎待合所周辺のバス路線の配置経過

小型バス・・・市民の通院・買物等日常生活を支える移動手段として生活に密着した施設へのアクセス確保

- ・山崎待合所周辺の施設へは、小型バス路線の延伸や交差により各施設付近にバス停を設置（⇒ 公立病院、市役所、医療モールなど）
- ・ダイヤは、9時前に山崎待合所到着し、17時前後に山崎待合所を出発
- ・大型バスの利用者は、小型バスに乗り継ぎ各施設へ移動

2. 運行後の課題

- ・施設ごとの営業時間が異なることによる小型バス等への乗継便の制限
（⇒ 小型バス 山崎～地域 昼間 1往復から2往復、ダイセル線乗継不可）
- ・イオンへのバス停設置（⇒ ジョーシン西のバス停不可）
- ・医療モールへの乗継路線限定（⇒ 城下線、戸原線）
- ・主要施設への延伸・巡回による乗車時間の増大（⇒ 城下線 33分、戸原線 33分）
- ・大型店の新規出店に伴う周辺環境の変化
- ・旧町内の路線確保（⇒ 現状では幹線利用のみ）

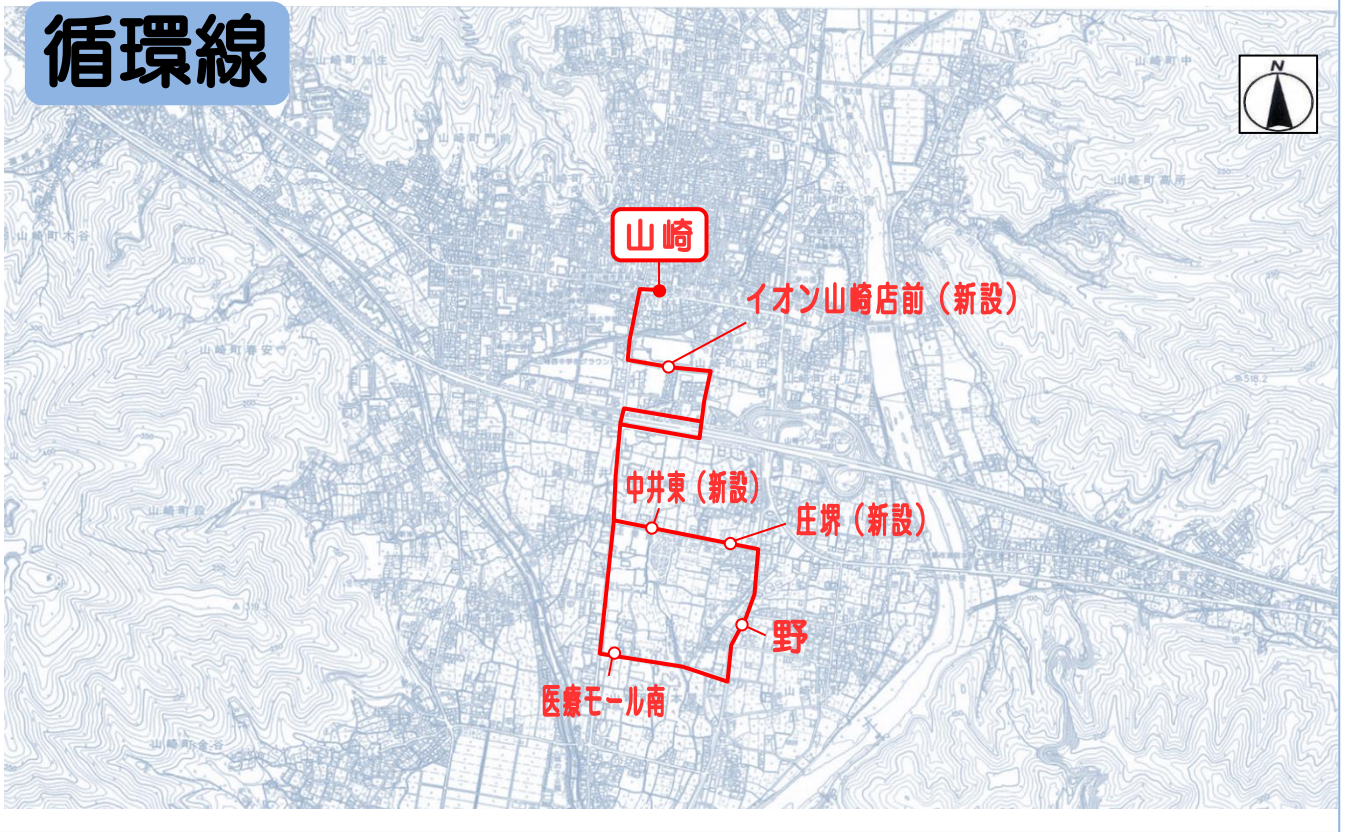
3. 社会実験運行の目的

医療施設や商業施設等が集中している神姫バス山崎待合所を中心として、市内全域から乗り継いで各施設を巡回する小型バスを運行し、バスの乗り継ぎ及び待ち時間の短縮による日常生活に密着した路線を確保するために、利用者の動向を検証する『循環バス社会実験運行』を行う。

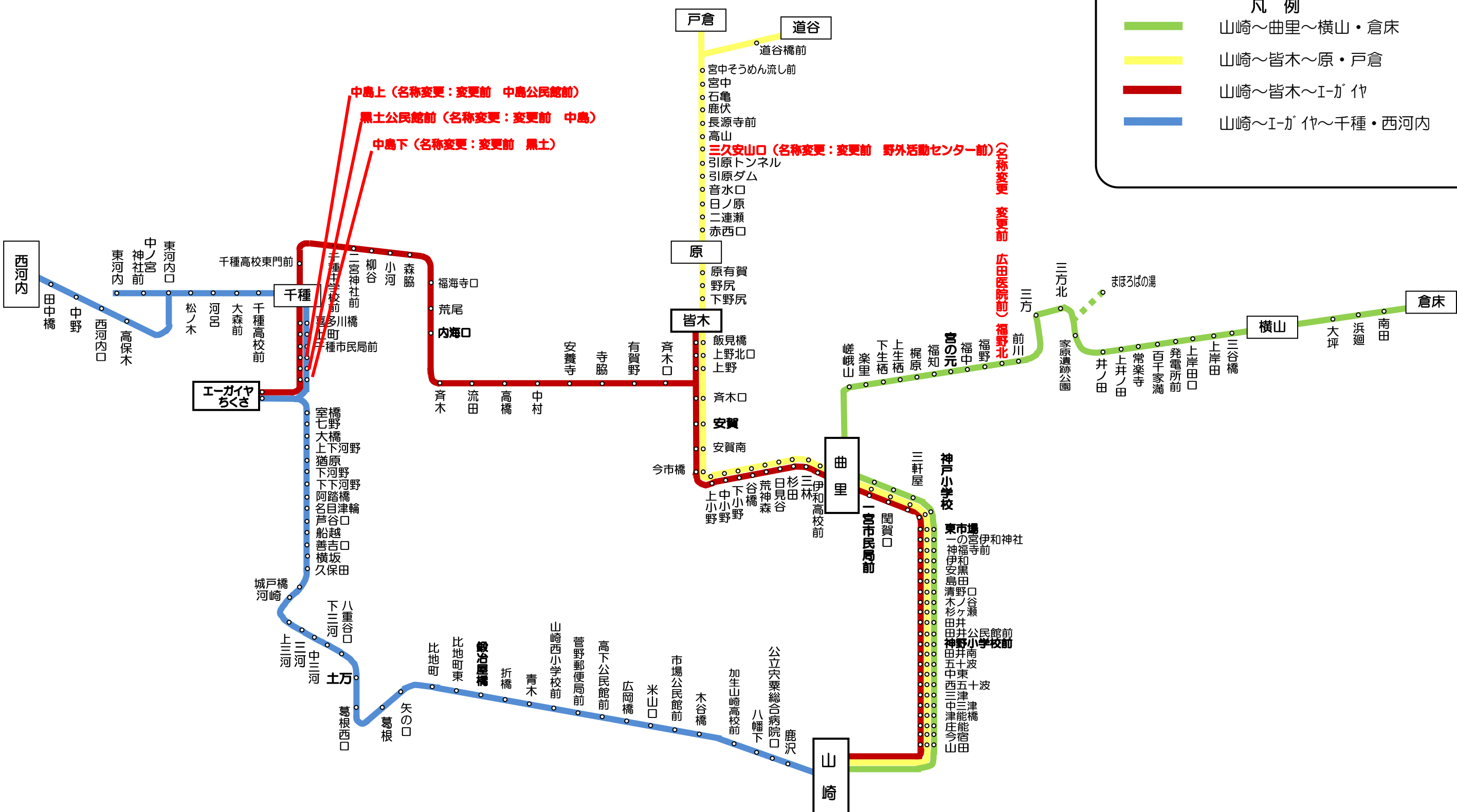
4. 基本的なコンセプト

- ・社会実験運行期間 6か月間程度
- ・小型バスの配車
- ・巡回時間 30分以内

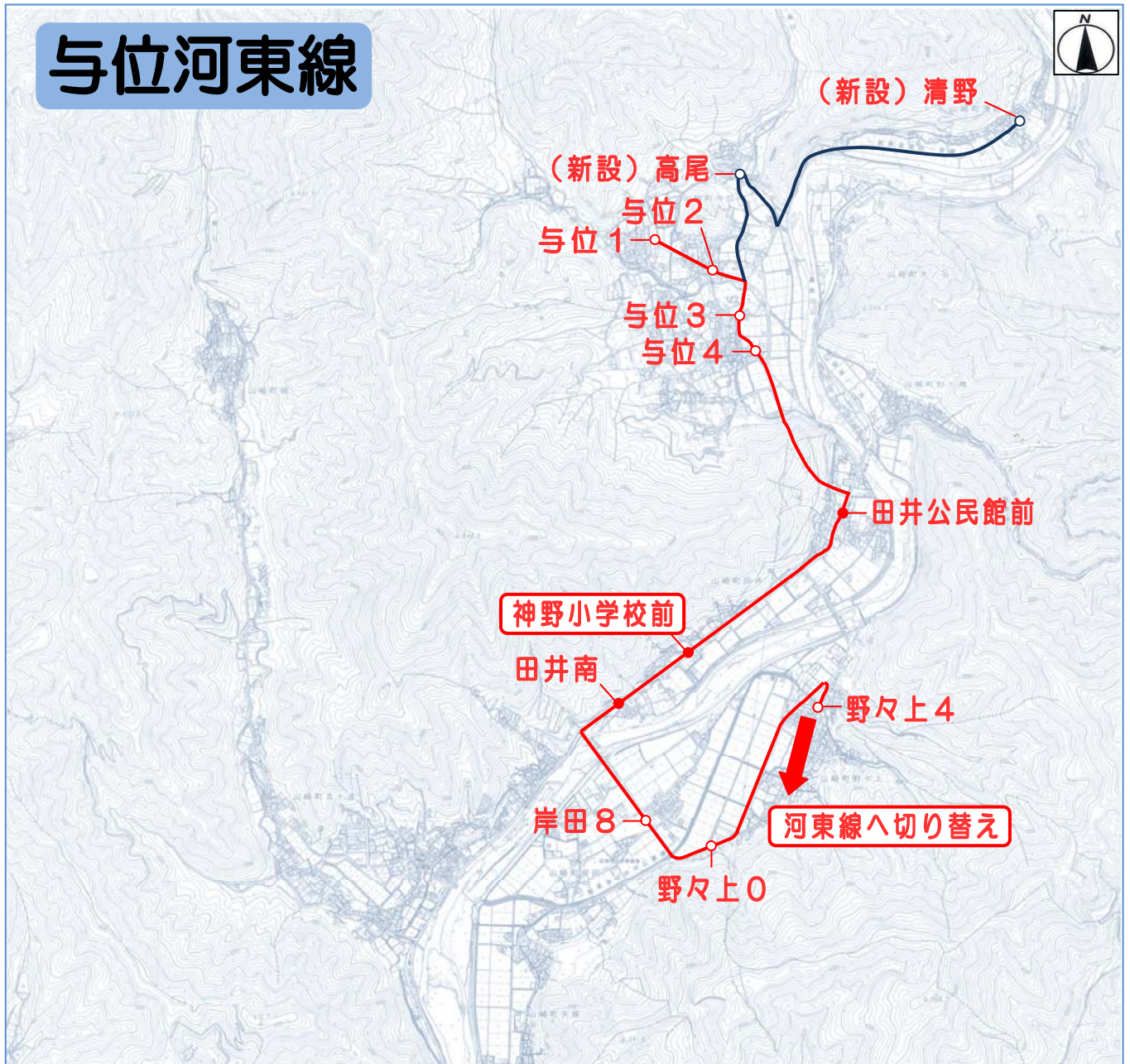
循環線



路線図（市外連絡路線）



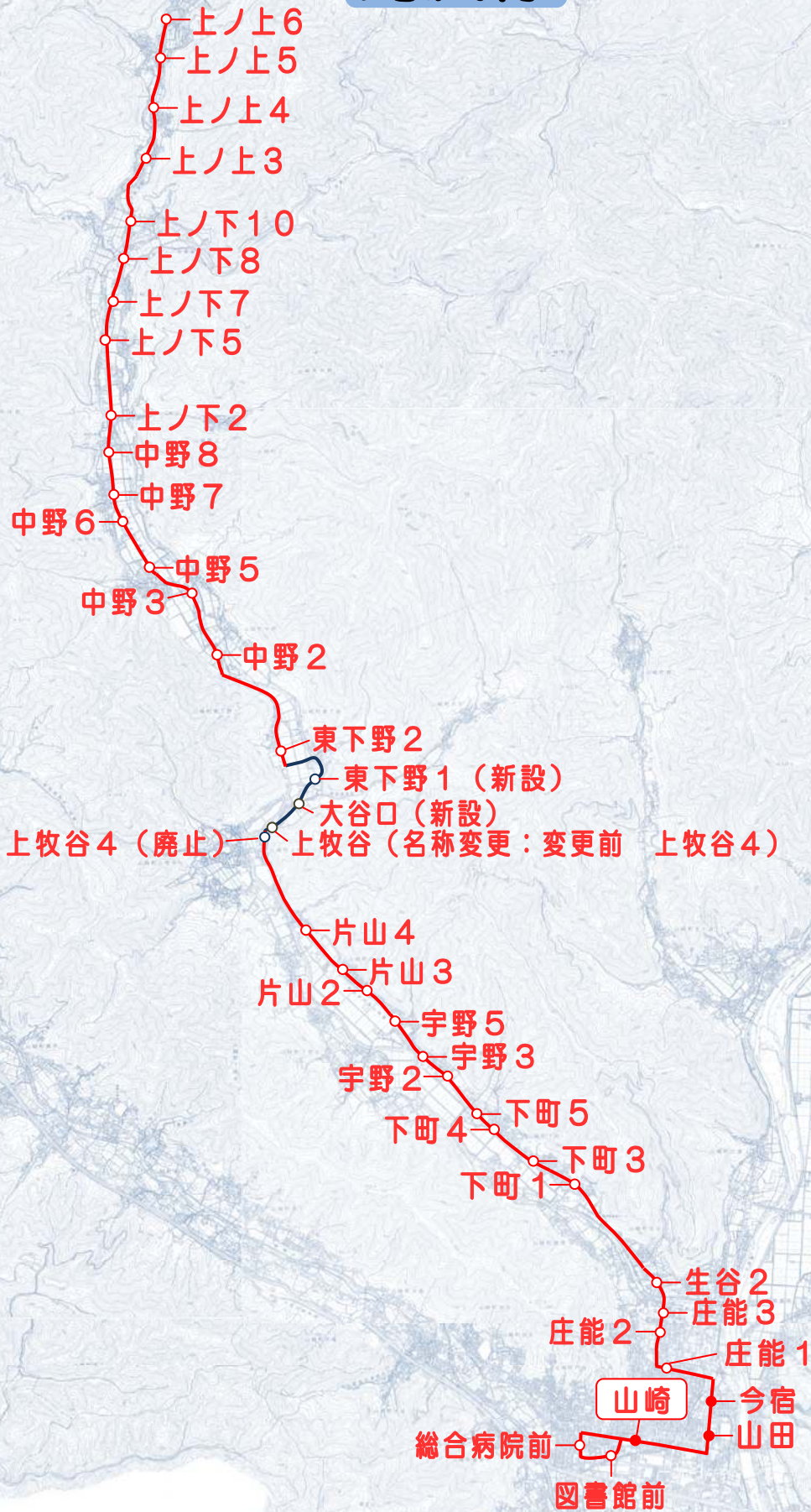
与位河東線



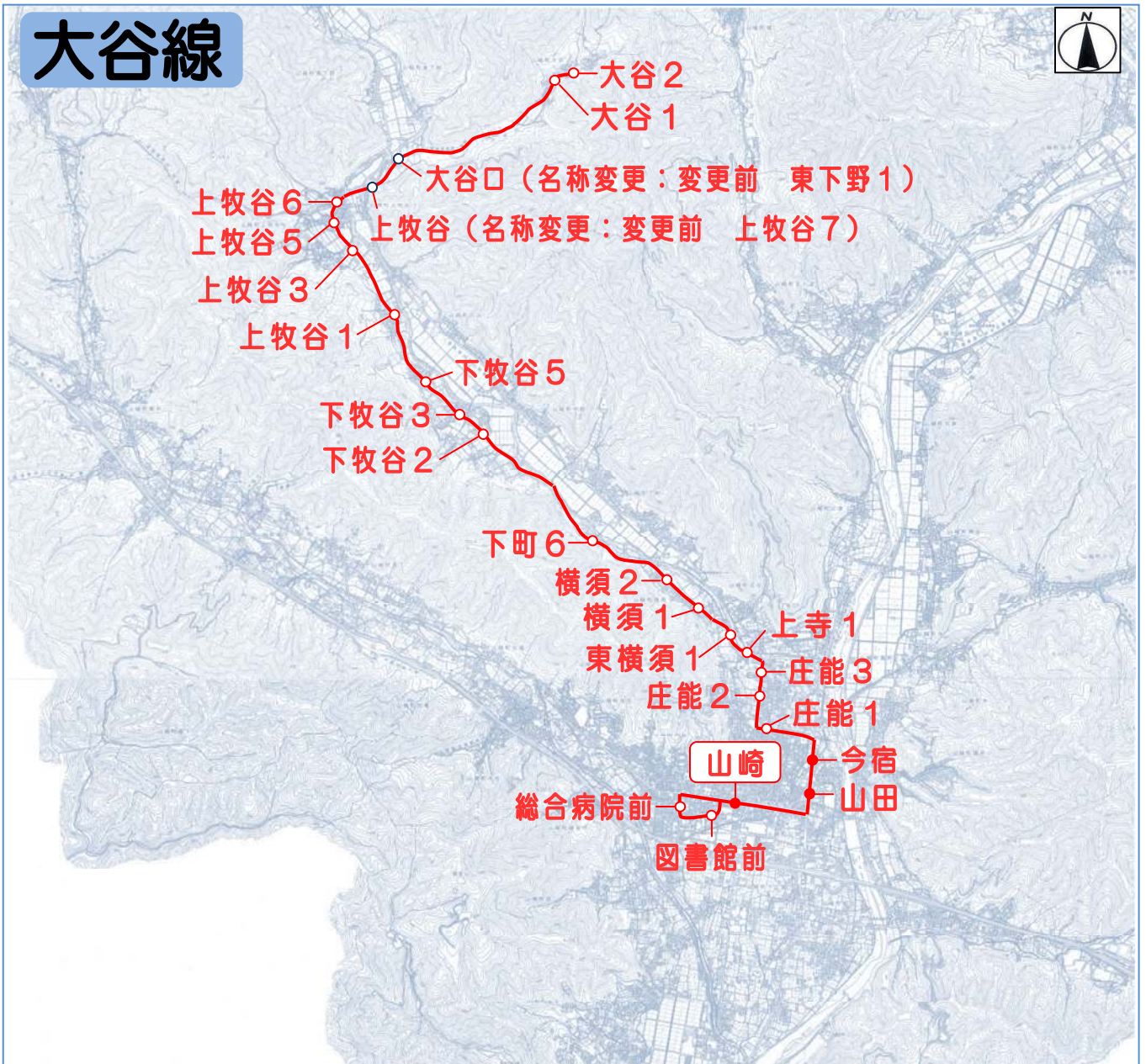
みんなで乗って
バスを守りましょう！



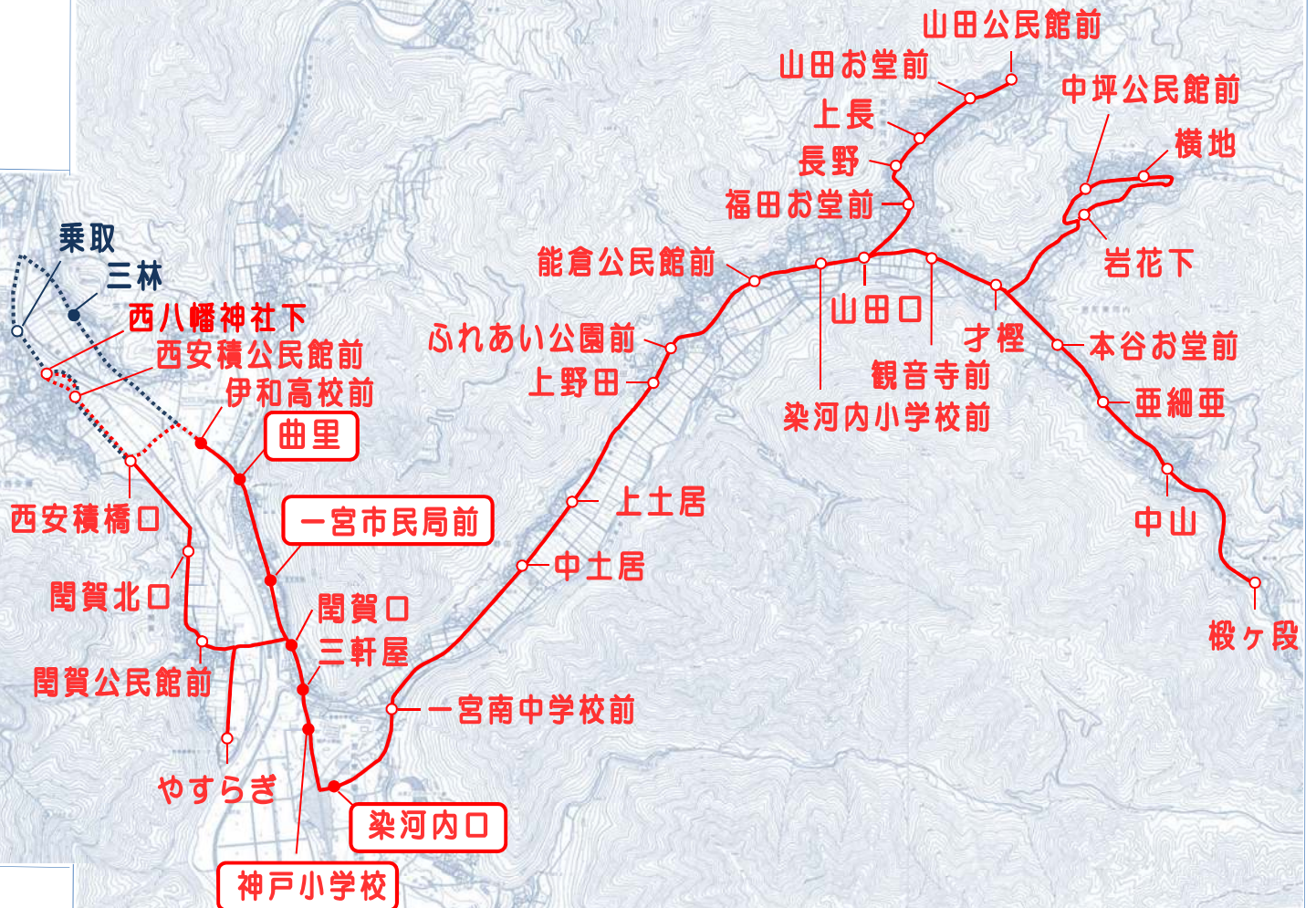
葛沢線



大谷線

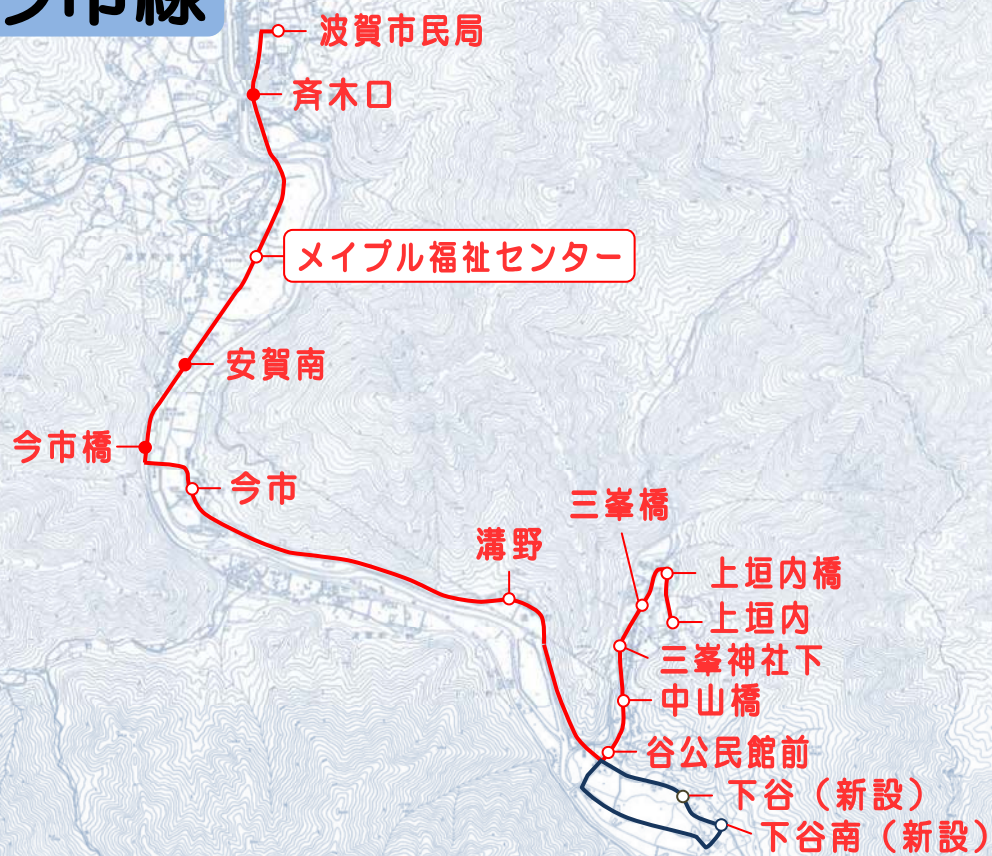


染河内川西線



青の点線は、市道の道路規制が全面解除された場合の運行ルートです。

谷今市線



音水線

